

大型コンクリート製品

記事提供：(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会

平成30年 4～6月期の出荷状況は、前年同期比+700%と大きく増加した。

出荷量の大部分は、大型ボックスカルバートが76%で、出荷先は高田河川国道管内の弁天大橋架替改良工事に納入された。次いでスノーシェット・シェルター類が18%で、管外の福島県と岐阜県内に納入された。他は長尺側溝類で、羽越河川国道管内の鷹ノ巣道路、富山河川国道管内の芹谷道路 他、金沢河川国道管内の加賀地区舗装工事等に納入された。ダム監査廊、コンクリート舗装版の実績は無い。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千)

県名	平成29	平成30年度					備考
	年度計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	累計	
新潟県	+26	+970					
	5.8	3.2					
富山県	▲56	±0					
	0.4	0.02					
石川県	+600	±0					
	0.7	0.02					
3県計	+23	+700					
	6.9	3.2					

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、大型擁壁(高さ4～8mでセグメント型)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシェット、スノーシェルターをいう。

『便覧とりまとめ委員会』の活動

製品評価委員会(北陸地方整備局・新潟県・富山県・石川県と建設関連団体で構成)が発刊(昭和59年初版)する「土木用コンクリート製品設計便覧」は、北陸地方で主に開発・改良した製品を集約的に紹介したものである。

設計を担っている建設コンサルタンツ協会等から、市場性ある製品は勿論の事、活用実績のある新製品等を早く取り入れようという要望があり、またコンクリート製品業界の活性化を図る目的で協会内に『便覧とりまとめ委員会』を発足しました。

主な活動は、協会員より新製品・改良製品と廃止の情報を毎年集め、一定の基準(納入実績・技術基準・製造拠点等)を満たしている製品を製品評価委員会に申請することを目的としている。その後、製品評価委員会の評価を得てから、「土木用コンクリート製品設計便覧」の改定をして頂くという流れである。

今後も、設計・積算担当者や建設業界の皆様時代に合った採用しやすい製品を発信できるよう努力してまいります。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>